

Yusuhara a Home from Home (第12部)

公共心が発揮される1日 (Rising Community Spirit)

梶原学園 ALT : スティーヴン・ウダード

もう先月の出来事になりましたが、6月20日の日曜日は、僕にとっては1年越しのちょっとした記念日でした。町内のあちこちで、感動的な公共心が発揮される、梶原ならではの1日だったからです。もうお分かりでしょうが、「町内一斉清掃」が今回のお話です。小学生からお年寄りに至るまで、全ての年代の人たちが一斉に外に繰り出して、周辺を掃除したり、手入れをしたりする様子は、僕にはやはり驚きです。参加しているひとりひとりが、自分が住む地域に対してこのように誇りを持ち、そしてそれを示すのであれば、あるべき姿に町の外観を整えるのはそう難しいことではないでしょう。本当に素晴らしい活動だと思います。

僕がこの行事に、これほどまでに驚いている理由は为什么呢？ 上にも書きましたが、僕が知る限り、この町ならではの活動ではないか、と考えているからです。梶原にやってくるまで、住民のみんながその町の清掃や整備をするのに一斉にとりかかる、そんな光景を見たことがありませんでした。これはもちろん、イギリスではこういう活動は存在しない、と言っているわけではありません。でも少なくとも、規模と参加者の数を考えれば、僕には前代未聞のことです。自分が住む町に対して、このような形で誇りを示すことができることは、イギリスにもぜひ持ち帰りたいような、素晴らしい文化の一端だと思っています。



町内のあちこちで、このように協力しながら一斉に行われる活動には、もう感心するしかありません！

(日本語訳：町 ALT 森竹弘喜)